



東地中海地域ニュース

パレスチナ：イスラエル軍のガザ地区攻撃に対するパレスチナ側の反応 (1月16日付イスラエル、シリア現地紙)

1月15日ガザ地区でイスラエル国防軍（IDF）の攻撃によりザッハール元外務庁長官（ハマス）の子息を含む19名の死亡者が出た。またステロットにカッサム・ロケットが着弾し、少なくとも10名が負傷した模様。

1. アッバース大統領

本日、我が人民に対する虐殺が起こった。我が人民は、そのような罪に対して沈黙を続けることはできないと世界に対して述べる。

2. ファイヤード首相

イスラエルの残忍な行動は、更なる憎しみと敵対心を植えつける。息子を殺害されたザッハール元外務庁長官に対し、追悼の意を表する。

3. サアディ・クルンズ首相府官房長

イスラエルは、アナポリス中東和平国際会議及びブッシュ米大統領に最近の訪問の直後に和平プロセスを崩壊させる気である。

4. ザッハール元外務長官

これがブッシュ大統領に訪問の一つの成果である。我々はイスラエルに適切なやり方で報いる。今日起こっていることは、ブッシュやシオニストと協力する全ての者にとって恥である。私は、全ての国王、大統領、閣僚達のことを述べているのである。彼等に私は告げる。明日は、彼ら（シオニスト）はあなた達の息子を殺すであろう。

5. マシュアル・ハマス政治局長

今回の犯罪は、ブッシュ大統領訪問の醜い結果である。ブッシュはシオニストを扇動し、パレスチナ側に対してより強硬路線をとるように圧力をかけている。ハマスは、こうした犯罪行為に対して妥協することはない。今後一層の抵抗という堅固な立場をとり、国民的結束の下にイスラエルに報復するであろう。